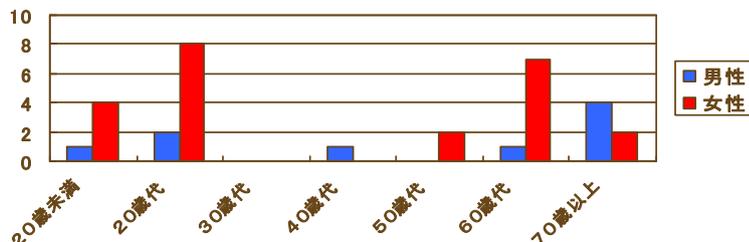


平成21年度交通バリアフリー教室アンケート結果

実施日時 : 平成21年12月9日(水) 13:00~16:30
 実施場所 : 宇治平等院表参道
 主催 : 近畿運輸局、近畿運輸局京都運輸支局、宇治市
 後援 : (社)京都乗用自動車協会
 協力 : (社)宇治観光協会、宇治京阪タクシー(株)
 参加者数 : 32名

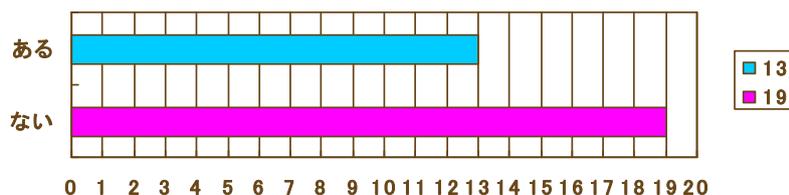
1. 参加者の性別・年齢・職業



〔職業〕

大学生・・・15名、会社員・・・1名、団体職員・・・1名、
 主婦・・・8名、その他・・・7名

2. 今までにこのような「バリアフリー教室」に参加したことはありますか。



ある・・・13名 ない・・・19名

〔あると答え人の参加回数〕

1回・・・4名、2回・・・5名、3回・・・2名、
 6回・・・1名、20回以上・・・1名

3. 今回の教室に参加した動機をお聞かせください。(複数回答可)

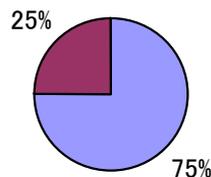
友人、知人に誘われて興味をもったから	10名
仕事に役立てたい	10名
ハンディのある人のサポート体験をしてみたかった	7名
以前からこのような教室に参加してみたかった	6名
ハンディのある人の実体験をしてみたかった	2名
その他	18名

その他の意見

- ・介助は直接行わないが、様々な注意を伝えるとか、周囲の説明をすることでボランティアが1ドとして何が出来るかを考えたかった。
- ・観光ボランティアが1ドに役立てたい。
- ・今後、ハンディのある人の観光が増加すると思われるので、このような体験は大切だと思う。
- ・ボランティアが1ドとして障害のある方の気持ちを知りたかった。
- ・学生ではなく、社会人やその他の人の意見を聞けるよい機会だと思った。
- ・バリアフリーについて、いろいろ考ようと思い参加した。

4. 今回の教室に参加してよかったですか。

大変良かった	24名 (75%)
良かった	8名 (25%)
悪かった	0名 (0%)



■ 大変良かった ■ 良かった

その他の意見

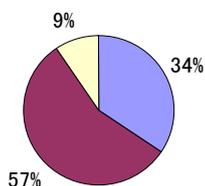
- ・日頃何とも思わない道の傾きなどが理解できた。介助者と介助される側のコミュニケーションをよくする手伝いをしたい。
- ・アイマスクの体験は良かった。
- ・改めて障害者の目線という立場からガイド活動を考えるきっかけになったことが第一の収穫。また、バリアフリーの改善点について報告することができた。
- ・様々な立場の人が共同で取り組むものだったので、色々な視点で見ることができ、良かった。
- ・車椅子体験とアイマスク体験は全く初めてだったので、障害者の人の少しでも近づけた気がした。
- ・このような体験はできないので、私にとっては大変役立った。これから、ガイド以外の時にも役立てたいと思う。
- ・バリアーが至る所にあること、ハンディのある人から見た宇治の観光に対する考え方が変わった。
- ・実際に体験して色々な事が分かって良かった。あさぎり橋はバリアフリーにしてほしい。
- ・初対面の大学生や指導者のもとで真剣に取り組めて良かった。
- ・ガイド同士でペアになったが、人間関係、信頼関係が大切であることが分か良かった。
- ・フィールドワークを大学の授業でしているのと違った視点と考え方を他の人から聞くことができ、とても勉強になった。
- ・普段、普通に過ごしているだけでは分からない事がたくさん見つけられ良かった。こういった機会が街を良くしていくのではないかと思う。
- ・普段からボランティア活動をしている方、宇治市の職員の方からの貴重な意見を聞くことができ、とても良かった。
- ・車椅子を使っている友人が、バリアフリーの動きが活発化しているけれども充分ではない、とよく言っているが、今回実際に体験してそれを身を持って知った。新しい視点が増えたので大変良かった。
- ・学校でのアイマスク体験などでは得られなかった情報などを知れたので良かった。
- ・今までとは違った記録という立場から一つ々意見に注目して宇治を歩くことができた。もっと宇治がバリアフリーになればよいと思う。
- ・実際にアイマスクをつけて体験し、気づかなかった場所がたくさんあった。

5. 本日の体験メニューについて、それぞれお答え下さい。

・車椅子体験

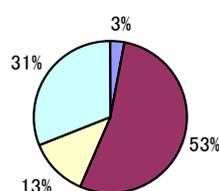
①内容

大変良かった	11名 (34%)
良かった	18名 (57%)
悪かった	0名 (0%)
無回答	3名 (9%)



②時間設定

長い	1名 (3%)
適当	17名 (53%)
短い	4名 (13%)
無回答	10名 (31%)



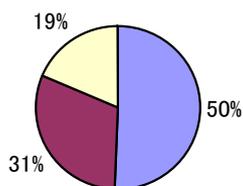
その他の意見

- ・障害のある方の立場や状況判断がよく理解できた。
- ・普段何気なく歩いている道の欠点がよく分かった。
- ・車椅子の操作説明が室内で行われたので見にくかった。
- ・体験コースがやや楽なコースだったので今後、もう少し難しい箇所も体験することが必要。
- ・福祉タクシーを実際に見ることができてよかった。実際、宇治市では、どれくらい福祉タクシーが利用されているか気になった。
- ・もう少し意見交換ができればよかった。
- ・やはり急な坂の所は、どうにかしないといけないと思った。

・視覚障害者体験

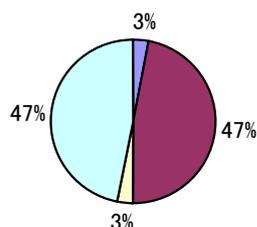
①内容

大変良かった	16名 (50%)
良かった	10名 (31%)
悪かった	0名 (0%)
無回答	6名 (19%)



②時間設定

長い	1名 (3%)
適当	15名 (47%)
短い	1名 (3%)
無回答	15名 (47%)



その他の意見

- ・障害のある方の立場や状況判断がよく理解できた。
- ・目が見えない事の不安がよく分かり、声かけの大切なことがよく理解できた。
- ・どちらか一方でなく、同じ道を違う方向で体験できるのはよいことだと思った。
- ・両方の体験とも時間が限られていたので仕方ないが、少し短かったと感じた。
- ・相手を信頼することが大切だと感じた。

6. 今後、この体験をどういったところで役に立てたいですか。

ハンディのある人の立場に立って考えたい	12名
サポートの仕方、方法などを他の人に伝えたい	11名
自ら進んでサポートしたい	7名
仕事に役立てたい	7名
その他	4名

その他の意見

- ・観光ボランティアとしてお客様に楽しんでもらいたい。
- ・今後の観光案内に役立てたい。
- ・普段の生活でハンディのある方が困っているのを見た時は迷わず助けられるようにしたい。

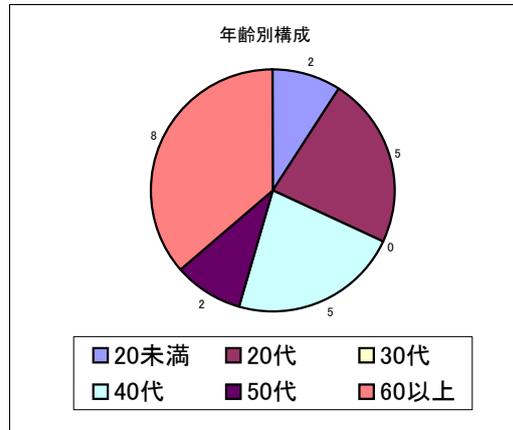
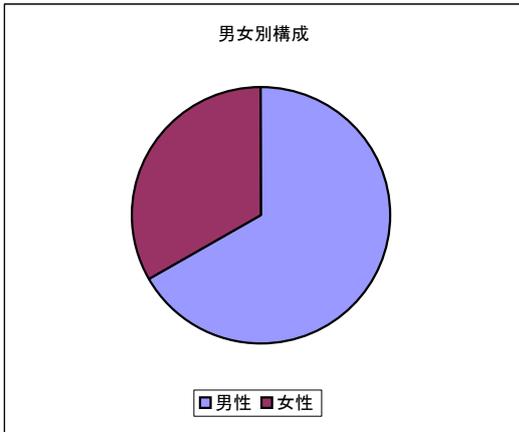
7. 「心のバリアフリー」を広めていくためには、どのような働きかけが必要と思われますか。

- ・一声かけること、声をかけを増やす、コミュニケーションを図ることが大切だと思う。
- ・中途半端な介助の手伝いは危険であると思う。介助者をどう助けるかを考えたい。
- ・実際に障害のある方達の立場で計画していく。デスクワークだけではダメである。
- ・様々な職種や年代の人に広めるようにすべき。
- ・障害者の方と何でもやる、という基本を考えること。
- ・このような機会を全国的に展開するとよいと思う。
- ・車椅子の方を見れば、少しでも声かけ（手助け）をしてあげたい。
- ・この教室で「心のバリアフリー」が一番大事なことを実感した。皆に多く知ってもらって色々、不便な所を直して下さることを祈ります。
- ・障害者の立場になって、きめ細やかな声かけが必要だと思う。
- ・当人の意見が反映されるのが一番よい。
- ・色々な障害のある方に、どのような事ができるのか勉強すること。
- ・皆に知ってもらうように情報の発信が大事。
- ・学校や地域の活動で体験してもらい、皆に考えてもらうようにしたらよいと思う。
- ・まずは障害を持っておられる方の立場に立ってみること。分かっているつもりでも、自分が実際に体験しなければ分からないことがほとんどなのではないかと思う。
- ・色々な立場の人が色々な体験をすること。
- ・皆、困っている人がいたら助けたいと思っているが、実際は声をかける勇気が出なくて難しいと感じている。声をかけるあと一歩の勇気を皆が持てれば心のバリアフリーが広がると思う。
- ・施設の設備をあらゆる立場の人の視点から考え整えるようにすべき。意味のないバリアフリーが生まれてしまうのは、自分と違う視点を考えられない心に問題があると思う。
- ・一人々が当事者の立場に立つことが一番が分かりやすいのではと思うので、学校内でこういう体験を小さい時から知っておくとよいと思った。
- ・もっと当事者の声を聞くことが大切。
- ・自分が障害を持っている方の気持ちになり、困っている方を見たら少しのお手伝いをできるように皆で心掛けていかなければならないと思う。

8. 今後の「バリアフリー教室」の進め方についてご意見をお聞かせ下さい。

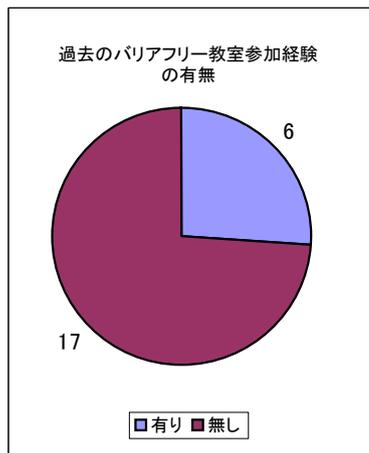
- ・ レストランや映画館での開催。
- ・ 誰でも簡単に介助する方向に指導すべきではなく、その立場で何ができるかを指導すべきと考える。介助の難しさを教えて、決して安易にできるように思わせないでほしい。
- ・ バリアフリーの未整備の所にも広めてほしい。
- ・ 教育現場でも行われると良い。
- ・ もっと多くの人や一般の人達を巻き込むような努力を期待したい。
- ・ 今回の駅施設以外の所での開催もおもしろいので色々な場所で開催してはどうか。
- ・ また、このような教室があればよいと思った。宇治市もバリアフリーが良くなってきていることはうれしい事だと思う。
- ・ 普通の道を歩くことの方が大変だと思うので、色々な地域を選んで開催する必要があると思う。
- ・ このように多くの機関の方に研修をしてもらって有難い。
- ・ 一般の方も参加してもらえようなものをもっと大人数で行ってみてはどうか。
- ・ 色々な場所やシチュエーションを取り入れた学習と体験を併せてやっていく。
- ・ 小さな子供達も参加したらよいと思う。
- ・ 当事者の意見を入れた方が伝わりやすくなるかもしれない。
- ・ 観光客が通過すると思われる箇所を重点的に体験し改善点を見つければよいと思う。ホテル等に体験の協力を要請するのも良いと思う。
- ・ もっと色々な年齢層の人にも参加してもらい意見交換をするべきだと思う。

男性	女性
16	8

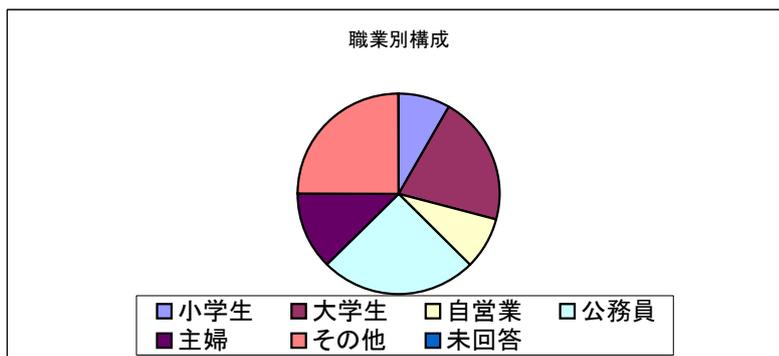


20未満	20代	30代	40代	50代	60以上
2	5	0	5	2	8

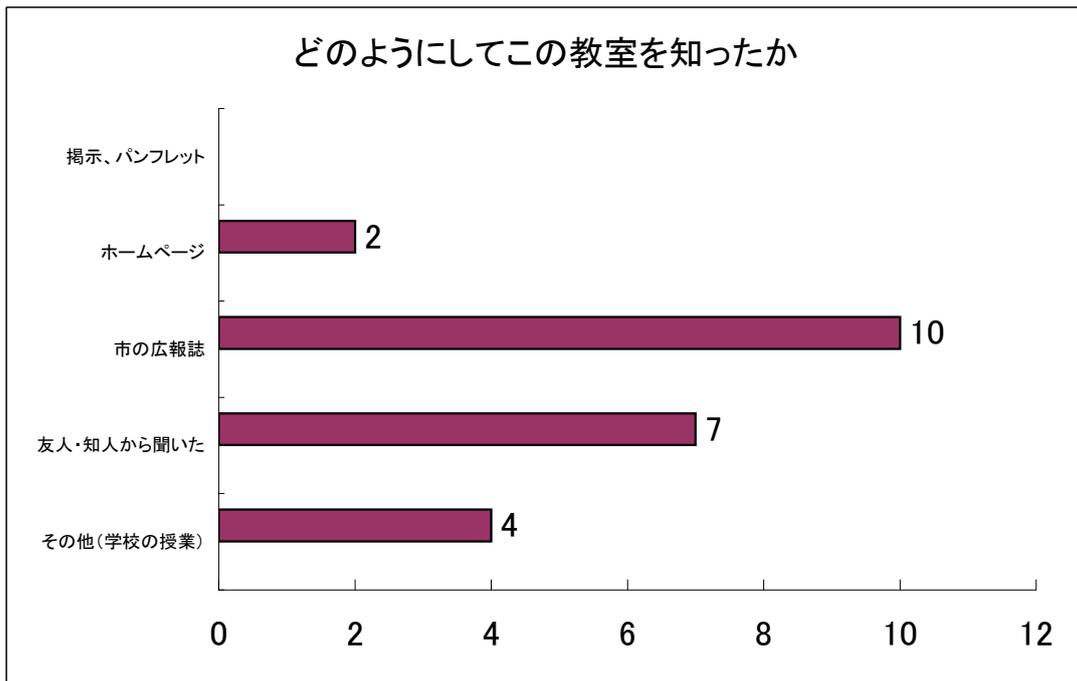
有り	無し
6	17



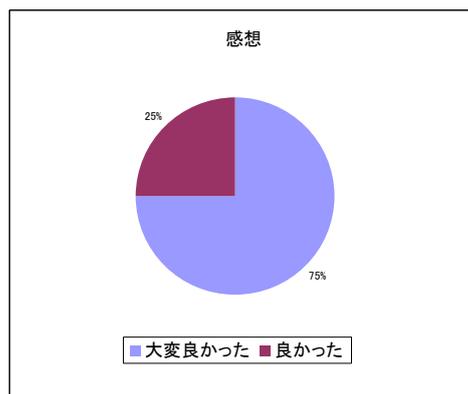
小学生	大学生	自営業	公務員	主婦	その他	未回答
2	5	2	6	3	6	0



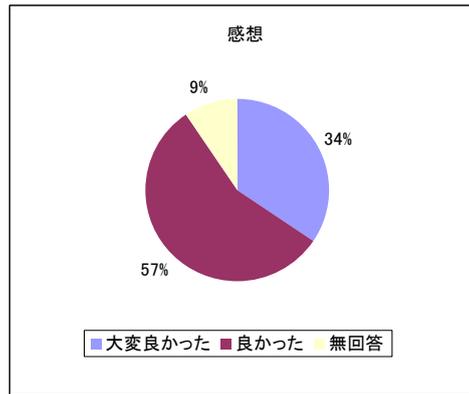
その他(学校の授業)	4
友人・知人から聞いた	7
市の広報誌	10
ホームページ	2
掲示、パンフレット	



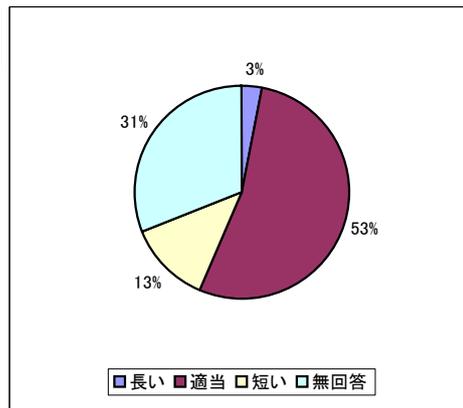
大変良かった	良かった
24	8



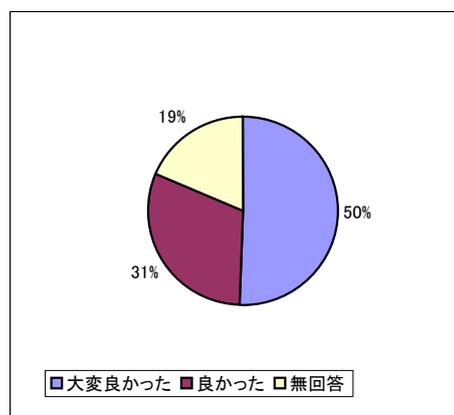
大変良かった	良かった	無回答
11	18	3



長い	適当	短い	無回答
1	17	4	10



大変良かった	良かった	無回答
16	10	6



長い	適当	短い	無回答
1	15	1	15

